

久我山だより

令和7年2月28日

杉並区立久我山小学校
電話(3331)3631 FAX(3247)8415
URL <http://www.suginami->

「人にやさしさ」を受け継ぐ

校 長 守 田 聰 美

日差しが少しずつ高くなり、吹く風も心なしか柔らかさが感じられるようになってきました。春の訪れも近いようです。

学校の春はまた旅立ちの季節でもあります。巣立ち行く時を待つ子どもたちを前に、あまたの人々との関わりにおいて、一人一人の子どもたちの今があることに思いを巡らせています。

入学したばかりの一年生を昇降口へ迎え入れ下駄箱に靴を揃えて入れることを見守ってくれた六年生。小さな背中から大きなランドセルを下ろして、教科書を机にしまうのを優しく手助けしてくれた六年生。なかよし班で一緒に遊んでくれた六年生。頼もしく成長しました。

先日、四月から一年生になる保育園の子どもたちが学校にやってきました。一年生は保育園の子ども一人一人に、ランドセルを背負わせてあげたり、ランドセルから教科書を出すことを教えてあげたりしました。六年生にしてもらったように、優しく見守ったり、手助けしたり、自信に満ちた一年生が頼もしく見えました。

子どもたちは人と人との関りを通して優しさを受け継ぎます。六年生もこうして成長してきました。かつて自分がしてもらったように。そして3月、五年生がリーダーを引継ぎます。

日本の小学校をテーマとしたドキュメンタリー映画がアカデミー賞にノミネートされ

「日本の学校教育」に対する考え方を国内外から知る機会となりました。日本の小学校の一例であり、賛否両論様々な意見があるようですが、子育て世代の方々だけでなく、多くの人々が「教育」に関心を寄せてくださったのではないのでしょうか。

これまで、フィンランド等をはじめとする自由で伸び伸びとした教育と対比して、日本の学校教育の在り方が批判されることがありました。一方、欧米でアカデミー賞にノミネートされたことは「日本の学校教育」のよさを改めて見直す機会にもなったと思います。

個人を尊重することも、みんなが協力して何かを成し遂げることも、どちらも大切なことだと思います。どちらかに偏り過ぎることが課題であり、両方の良さをバランスよく取り入れることが必要であると考えています。

学校では、一年間の教育活動の反省・評価を行い、新年度の教育計画を編成しました。この一年間にいただきました皆様のご協力に心より感謝し、新しい年度への期待とご支援をお願いいたします。

3月の生活目標

一年間のまとめをしよう

今年度も残り一か月となりました。各学級では、次の学年へ進級、進学するための準備をしています。日々の学習や生活などを通して、4月よりも成長したことや、自分が頑張ったこと、できるようになったことを振り返りながら、児童が一年間の学びを実感できるように指導していきます。また、友達と互いに成長を認め合い、新年度に向けて新たな目標を考えていけるよう言葉掛けをしていきます。ご家庭でも、お子様の成長を認め励ましていただけますようお願いいたします。

(生活指導委員会 竹崎 滉恭)